

高齢者施設・障害者施設の 感染対策事例集

〔改訂版〕

高齢者施設や障害者施設で勤務されている方へ



東京都
令和7(2025)年1月

- 高齢者施設等の職員に正しい感染対策を啓発するため、間違いやすいケースなどをまとめた事例集〔令和7年1月改訂版〕



<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/2024-12-26-175710-093>

※以下の事例は、事例集(34事例)の一部です。

上記のURL、QRコードから、全文をご覧ください。

《参考》

- ◆ 高齢者施設・障害者施設向け感染症対策ガイドブック（令和6年2月改訂）
- ◆ やさしい日本語版「高齢者施設・障害者施設向けガイドブック」（令和6年3月）



【清潔・不潔】食器の乾燥方法に注意しましょう



✕ **間違った事例**
タオルの上で濡れた食器を乾燥させる。

《解説》

濡れたタオルは、細菌の温床になります。濡れた食器の下にタオルやペーパータオルを敷いて、食器や物品を乾燥させるのは適切ではありません。洗浄可能な水切りカゴで乾燥させ、乾燥後は扉のついた食器棚へ片付けましょう。



○ **正しい事例**
食器を洗浄可能な水切りカゴで乾燥させる。

【医療廃棄物】廃棄物は正しく分別しましょう



✕ **間違った事例**
使用済のPPE(个人防护具)と一般廃棄物を混合廃棄している。

《解説》

PPEは標準予防策や感染経路別予防策に則って使用します。標準予防策とは、感染症の有無に関わらず、湿性生体物質（血液、汗を除く全ての体液等）は感染性のあるものとして、対応するという考え方です。使用済のPPEは、感染リスクがあるため、感染性廃棄物として廃棄します。一方、未使用のPPEが包まれていた外装(ビニール袋等)は一般廃棄物として分別します。



○ **正しい事例**
使用済のPPEを正しく分別して廃棄している。

【換気・空調】加湿器は清潔に保つよう管理しましょう



✕ **間違った事例**
加湿器のタンクを洗浄せず、古い水が入ったタンクへ水を継ぎ足している。

《解説》

加湿器は清掃を徹底します。タンクを適切に洗浄しないまま、水を継ぎ足しながら使用し続けると、細菌の増殖や感染による健康被害を引き起こすリスクがあります。



○ **正しい事例**
定期的に加湿器のタンクを洗浄し、給水している。